



# 2010年12月期 業績説明会

ジャパンシステム株式会社  
代表取締役社長  
阪口 正坦  
2011年 2月23日

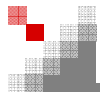




## 会社概要

<b>社名</b>	<b>ジャパンシステム株式会社</b>
<b>証券コード</b>	<b>9758</b>
<b>本社所在地</b>	<b>東京都渋谷区代々木1-22-1 代々木1丁目ビル</b>
<b>代表者</b>	<b>代表取締役社長 阪口 正坦</b>
<b>設立</b>	<b>1969年（昭和44年）6月</b>
<b>資本金</b>	<b>13億2百万円</b>
<b>社員数</b>	<b>644名（2010年12月現在）</b>

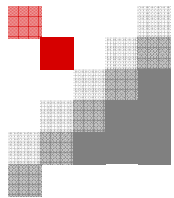




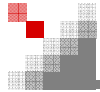
# 本日のご説明内容

---

- 1. 2010年12月期（第42期）業績について**
  - (1). 第42期業績
  - (2). 第42期業績のポイント
  
- 2. 2011年12月期（第43期）業績見通しと取組みについて**
  - (1). 第43期業績の見通し
  - (2). 第43期の取組み
  
- 3. 中期経営計画について**



## 2010年12月期（第42期）業績について



## (1). 第42期業績

経営業績（2010年1月～12月）

【単位：百万円】

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
7,747	195	207	287
6.6%	49.7%	60.2%	△25.7%

（%表示は対前期増減率）

1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
11円04銭	11.9%	5.2%	2.5%

## (2). 第42期業績のポイント

増収増益	<b>売上高</b> 77億47百万円	前会計年度は 72億69百万円 新規案件獲得による増収
事業基盤強化	<b>営業利益</b> 1億95百万円	前会計年度は営業利益 1億30百万円 生産性向上及び収益性改善活動の効果
	<b>経常利益</b> 2億07百万円	前会計年度は経常利益 1億29百万円 生産性向上及び収益性改善活動の効果
経営の効率化 最適化	<b>当期純利益</b> 2億87百万円	前会計年度は当期純利益 3億86百万円



## 2010年12月期 貸借対照表

( 単位 : 百万円 )

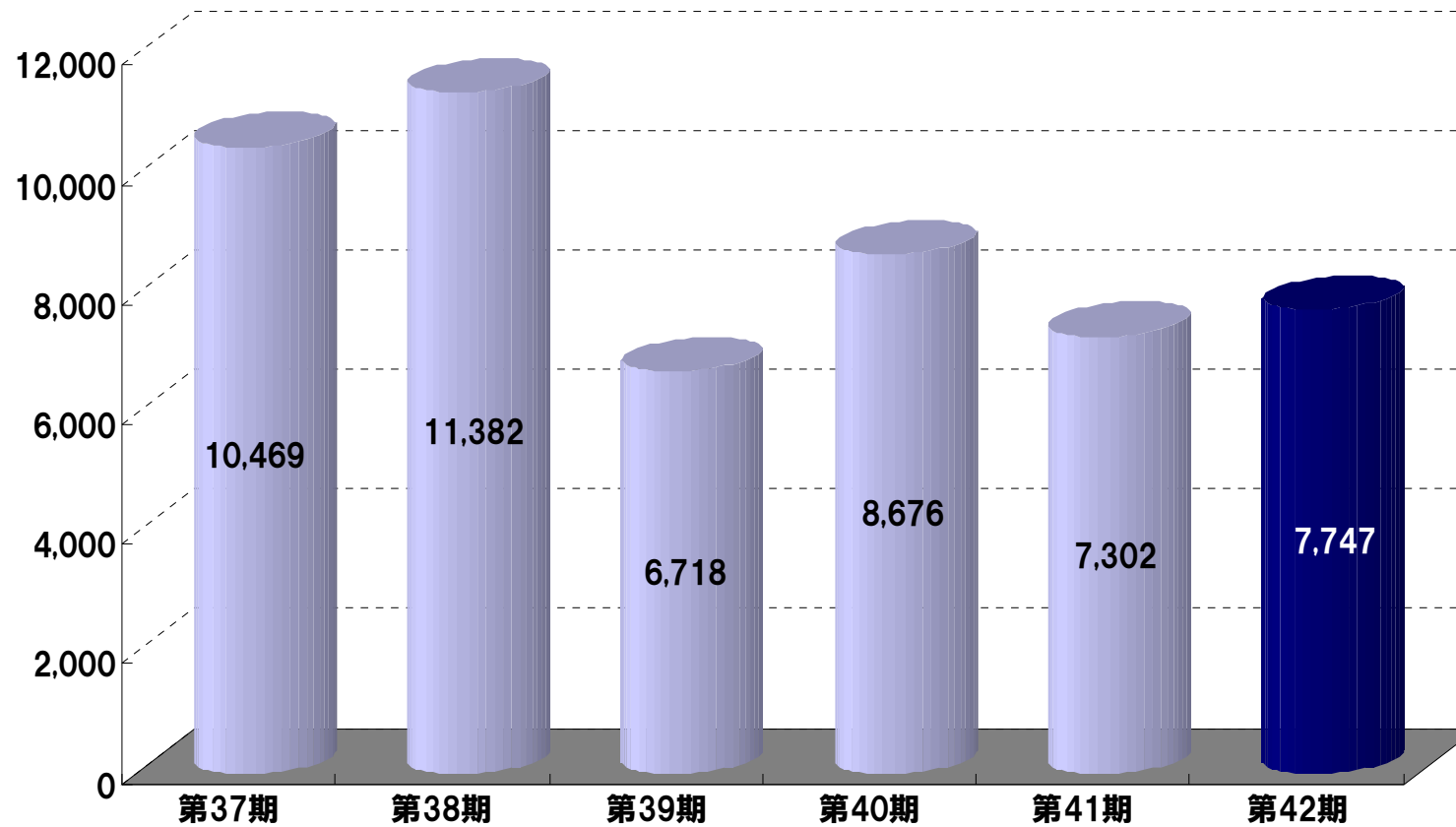
	2009年12月末	2010年12月末	増減額
流動資産	2,478	2,416	△62
固定資産	1,558	1,526	△32
(内、現預金計)	1,485	1,405	△80
資産計	4,036	3,942	△94
流動負債	1,420	1,219	△201
固定負債	338	160	△178
負債計	1,758	1,380	△378
純資産	2,278	2,562	284
純資産比率	56.4%	64.9%	8.5pt

**純資産比率は約65%、14億円超の現預金を確保**





## 売上高推移



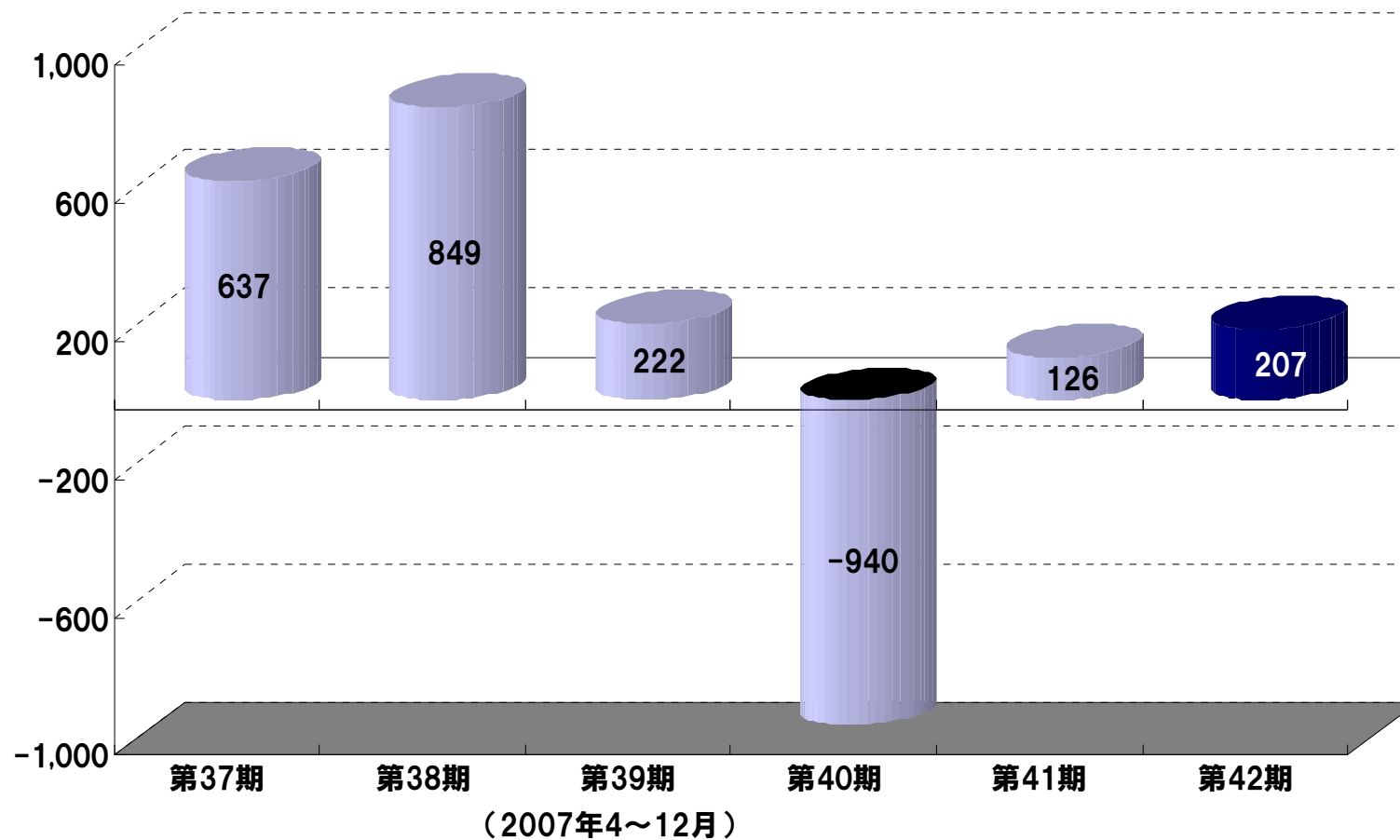
※当社は、2009年9月18日付けで連結子会社を清算終了したため、第41期までは連結売上高、第42期は単体売上高を表示しております。





# 経常利益推移

(単位：百万円)

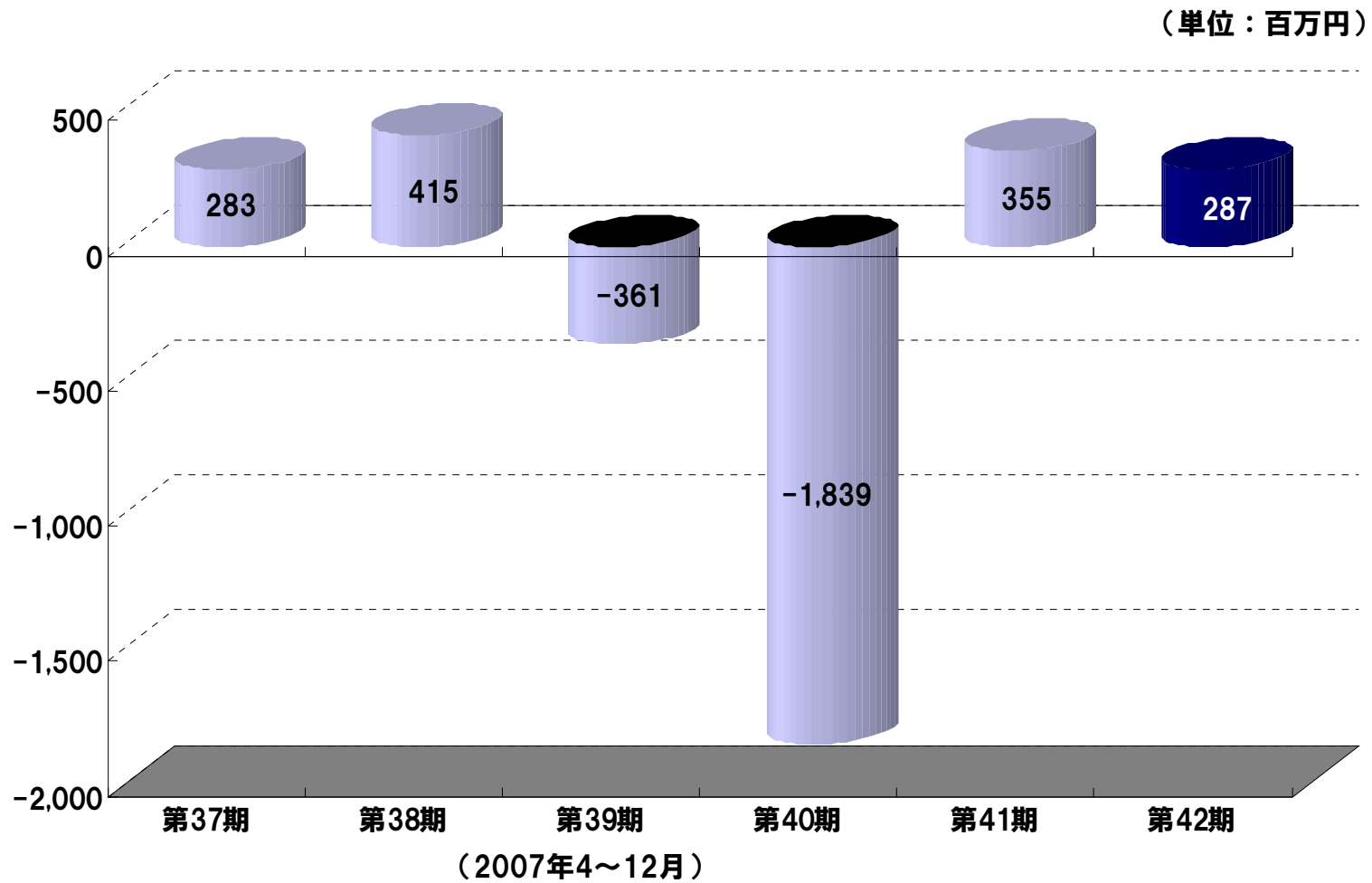


※当社は、2009年9月18日付けで連結子会社を清算終了したため、第41期までは連結経常利益、第42期は単体経常利益を表示しております。





## 当期純利益推移



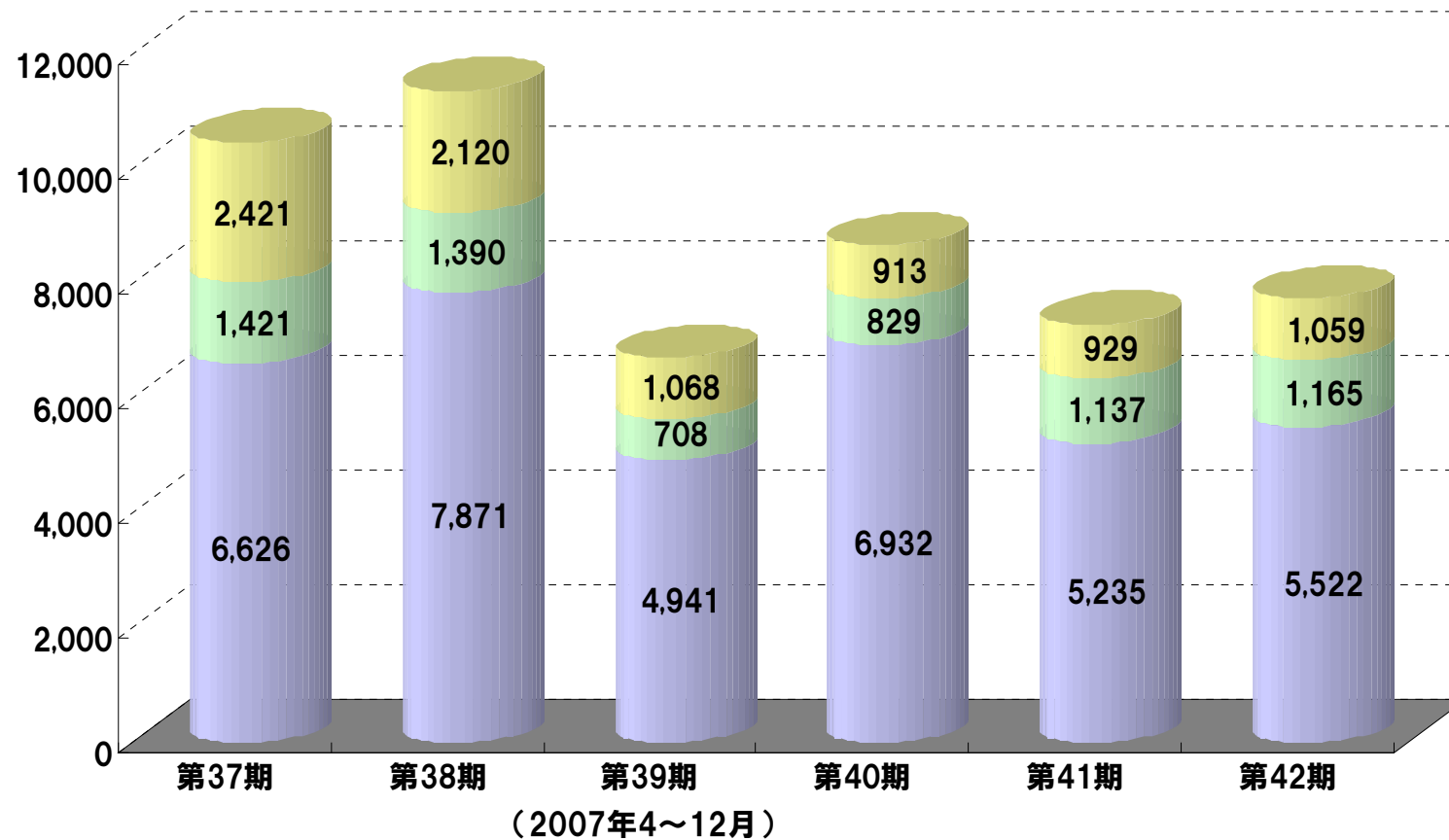
※当社は、2009年9月18日付けで連結子会社を清算結了したため、第41期までは連結当期純利益、第42期は単体当期純利益を表示しております。





# サービス別売上高推移

■ アプリケーションソフトウェア開発 ■ パッケージソフトウェア開発 ■ コンピュータ機器等販売 (単位：百万円)



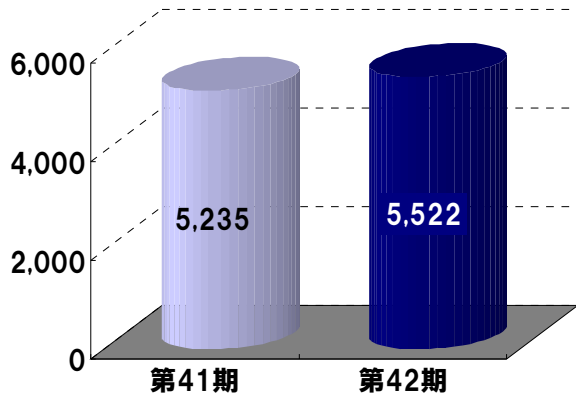
※当社は、2009年9月18日付けで連結子会社を清算終了したため、第41期までは連結売上高、第42期は単体売上高を表示しております。



# サービス別売上高推移ポイント

## ■アプリケーションソフトウェア開発

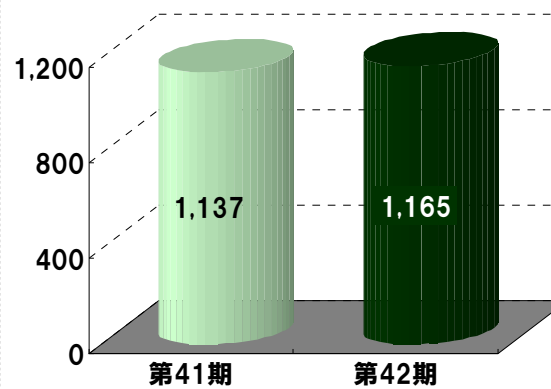
主に金融、官公庁、通信、流通、製造業の業務分野向けソフトウェア開発



新規案件の獲得により増加

## ■パッケージソフトウェア開発

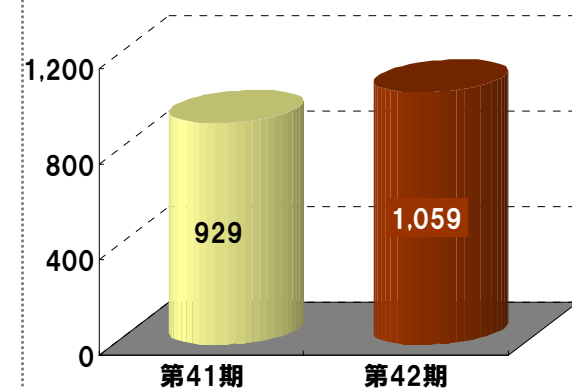
自治体を中心とする行政経営支援サービス（FAST）の開発、構築、導入およびHPアライアンスによるパッケージ型ソリューション提供



地方自治体向け開発案件及び保守・運用等の堅調な推移

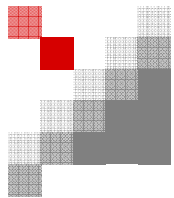
## ■コンピュータ機器等販売

主に自治体、一般企業向けのコンピュータ機器、その周辺機器、ネットワーク製品等の販売



ソフトウェア開発に付随したサーバー機器等の販売が増加

※当社は、2009年9月18日付けで連結子会社を清算終了したため、第41期までは連結売上高、第42期は単体売上高を表示しております。



# 2011年12月期（第43期） 業績見通しと取組みについて



## (1). 第43期業績の見通し

2011年12月期（2011年1月1日～12月31日）

【単位：百万円】

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
8,050	294	294	212
3.9%	50.0%	42.0%	△26.3%

（%表示は第42期増減率）

（注）上記の予想は本資料作成時に入手可能な情報に基づき作成していますが、実際の業績は様々な要因により予想数字と異なる場合があります。



## (2). 第43期の取組み

地盤固め期



発展期



飛躍期



### 新機軸の創出と確立に向けての転換の年

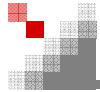
#### ■ 新しいビジネス分野へのチャレンジ

- ◆ クラウド・コンピューティング
- ◆ スマートシティ関連IT市場への進出
- ◆ 分析・企画などの上流工程へのシフト

#### ■ 既存のお客様の維持・安定化

#### ■ 実績あるソリューションの融合・組合せ・機能強化





## フォーカスする分野

### クラウド の製品体系構築

クラウド市場の拡大に備え、SaaS型ビジネス・モデルの確立と提供ソリューションの拡充を図る

### パッケージ型 ソリューション拡充

既存ソリューションに加え、新たなパッケージ型ソリューションを創出し、お客様のご要望に適合する形でサービスをお届けする

### アライアンス型 ビジネスの構築展開

新市場でのビジネスの機会獲得に向け、会社間協業による得意技融合ソリューションの創出とスケールの拡張を図り、ビジネス規模の拡大に努める

### 中期経営計画の 着実なる推進

健全なる経営を信条に、更なる発展と飛躍を目指しプランの強化と早期実行に注力する

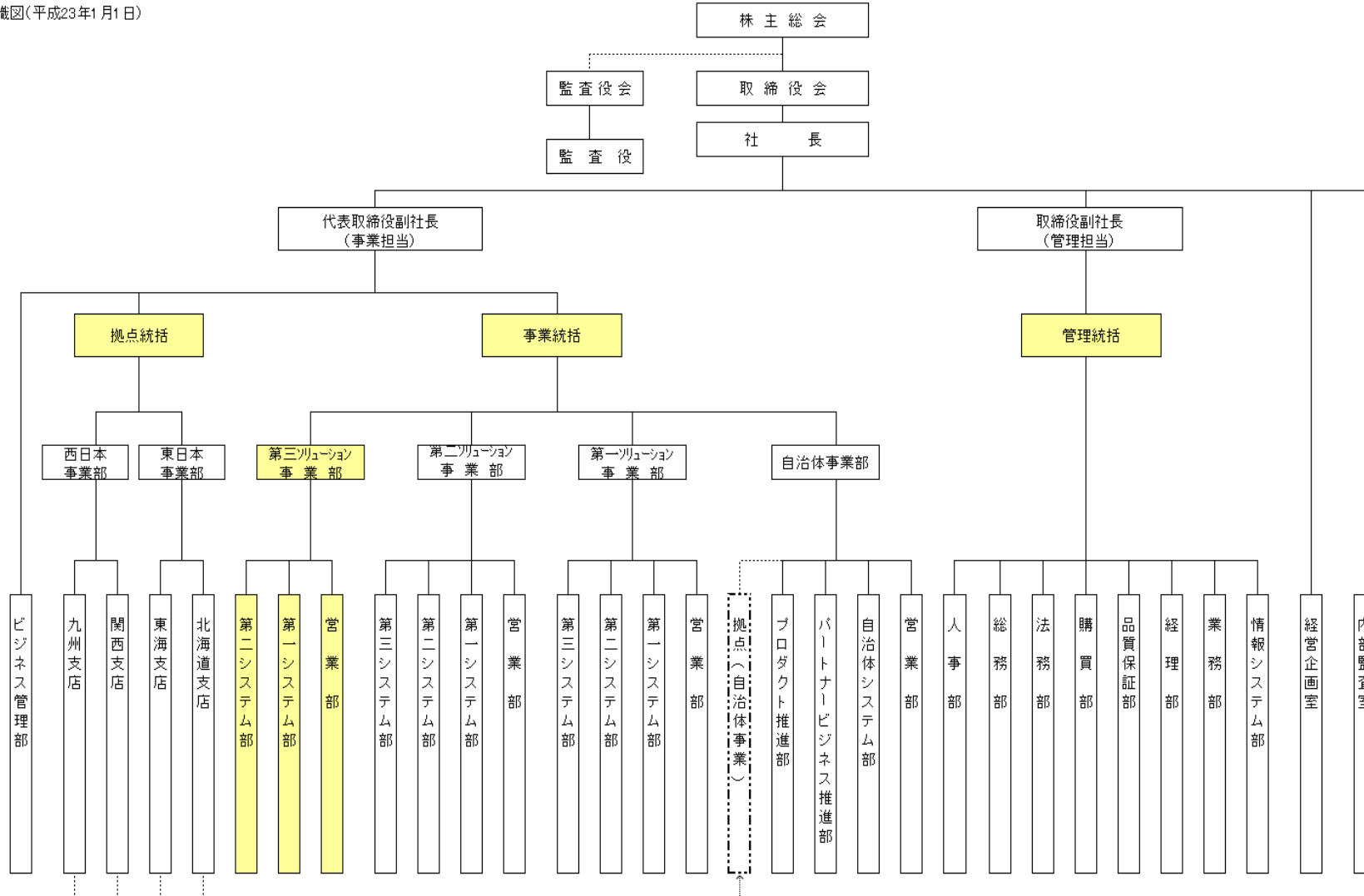


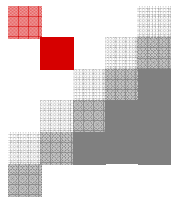


# 2011年度 組織

市場の動向を先取りし、新機軸のビジネスを創出し確立するなど、より機動的に業務を執行できる体制に組織を変更

ジャパンシステム株式会社  
組織図(平成23年1月1日)





## 中期経営計画について



# 経営の基本方針

ビジョン

知識創造社会におけるITサービスの担い手として、  
お客様の発展、成長に貢献する企業であり続けます。

経営理念

顧客指向

株主指向

社員指向

フォーカス

People

**社員**の能力向上と成長を図り  
活力に満ち、生き生きとした企業を実現

Profit

**お客様**の企業価値を期待を高め、  
具現化できる技術屋集団

Process

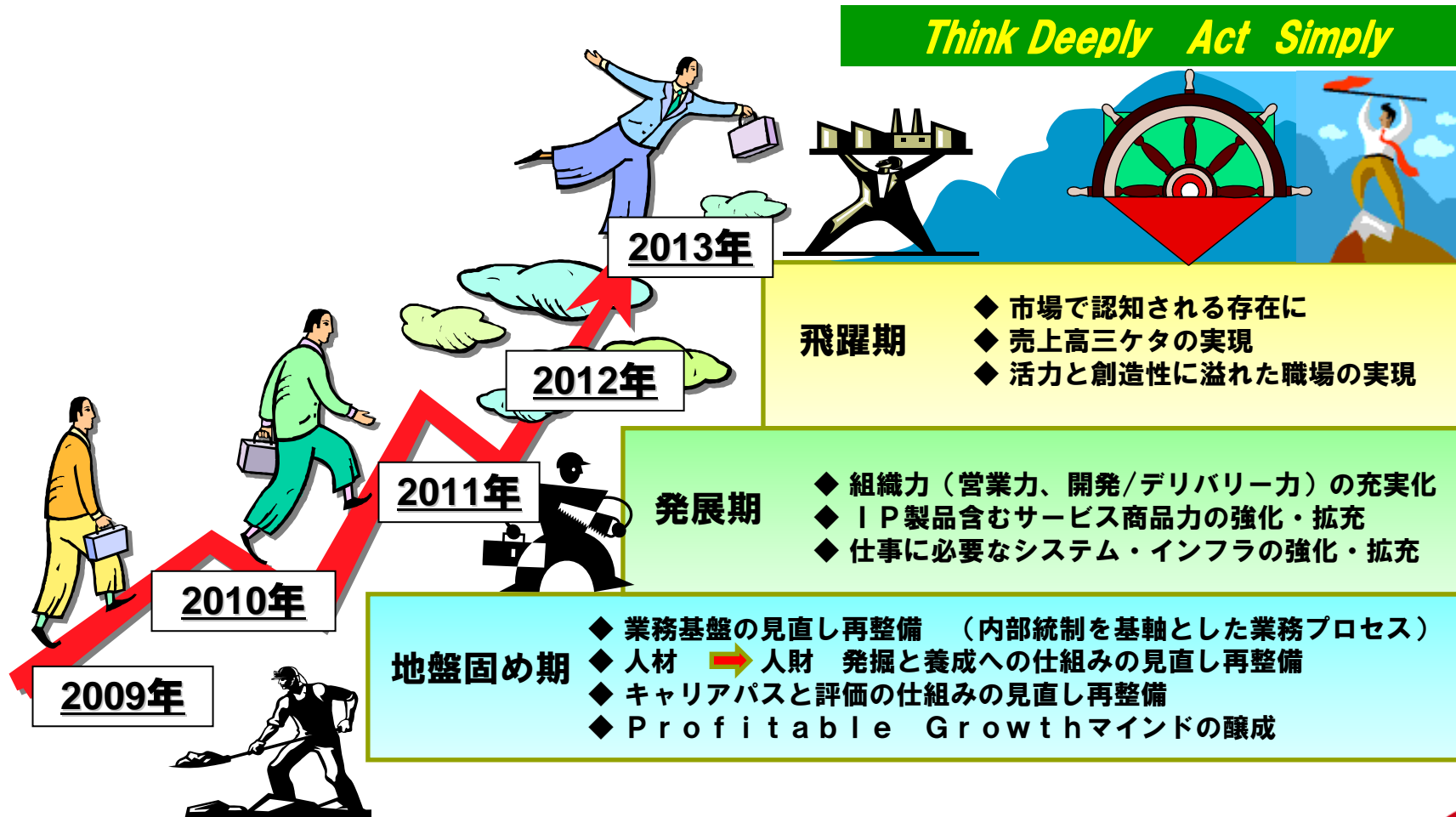
健全経営を通じた**株主・社会**への貢献

コンセプト

Total Solution Provider For Innovation



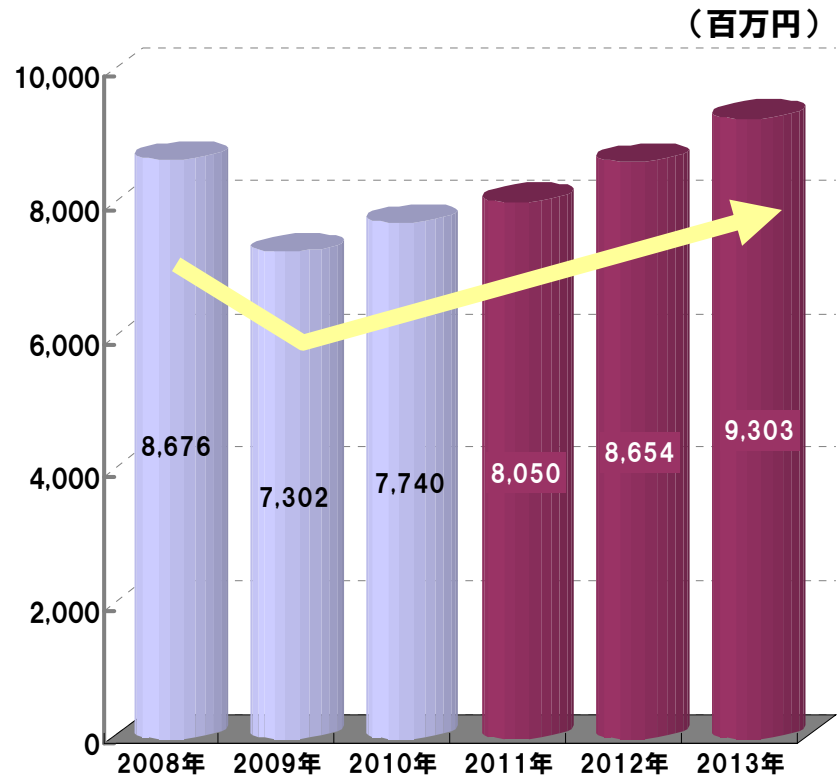
# 我々の針(進)路(中期経営計画概要)



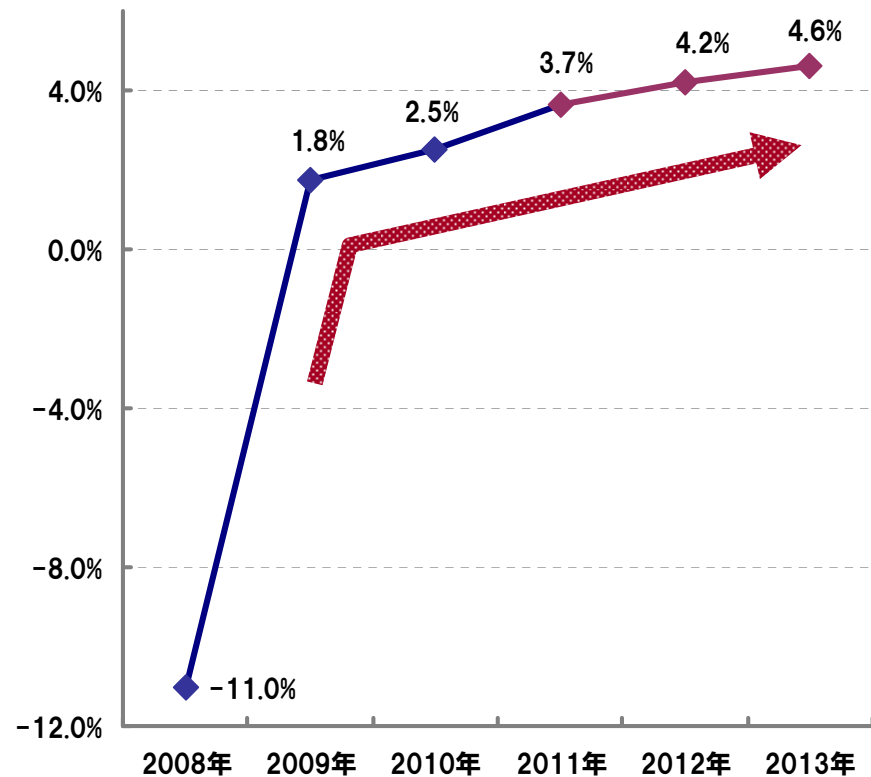


# 中期経営計画数値目標

## 売上高



## 営業利益率

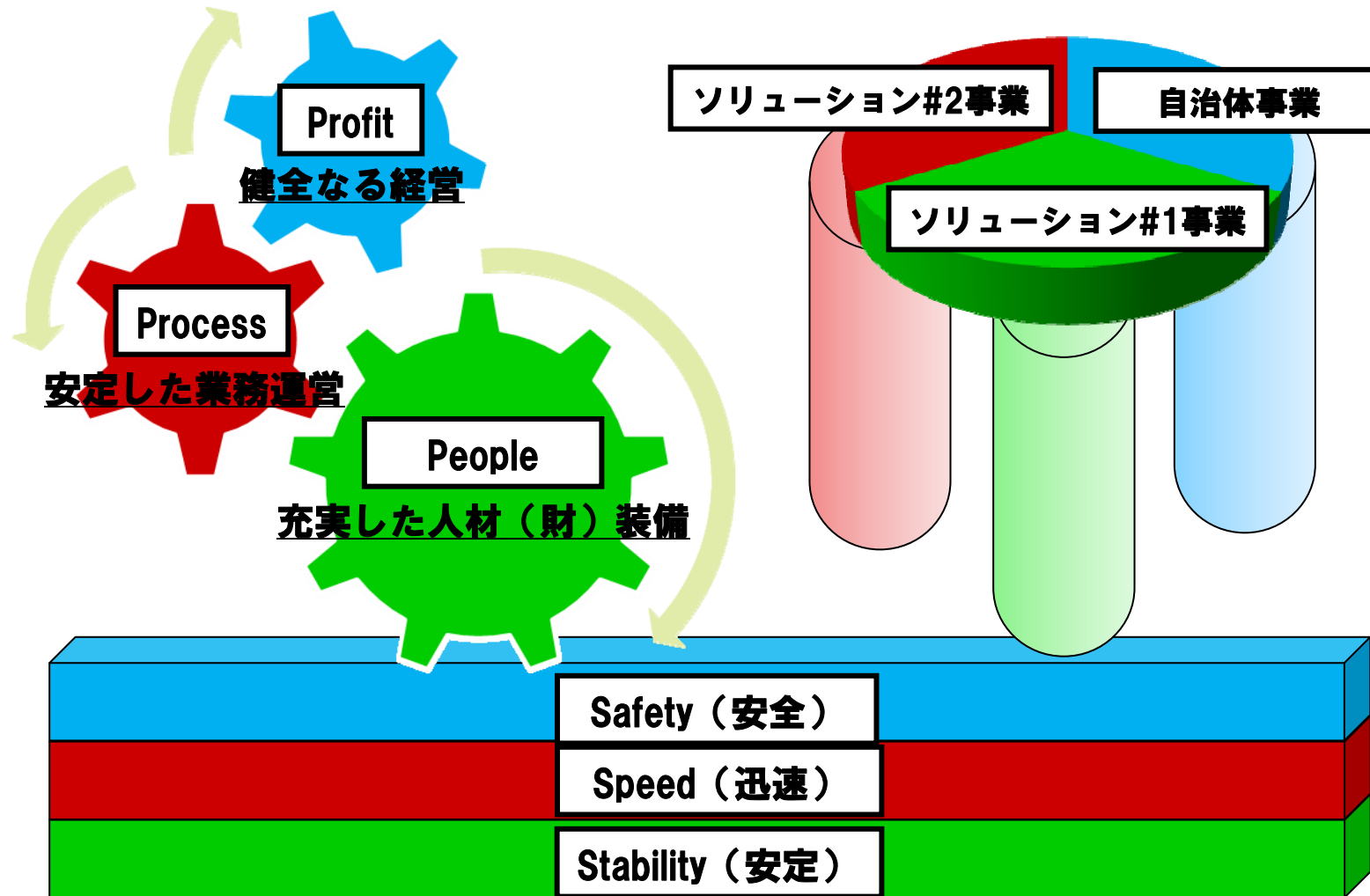


2009年からの黒字化を基盤とし、2010～2011年度の発展期を経て、  
2012～2013年度の飛躍期に向けて成長を目指す





# 中期経営計画コアエッセンス





本資料の内容には、将来の業績に関する記述が含まれていますが、このような記述は将来の業績を保証するものではありません。

本資料中の予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき算定したものであり、実際の業績は今後の経済情勢や多様な要因により、予想数値と大きく異なる結果となり得ることをご了承ください。

## 本資料に関するお問合せ

ジャパンシステム株式会社  
e-mail : [ir\\_info@japan-systems.co.jp](mailto:ir_info@japan-systems.co.jp)





*Total Solution Provider For Innovation*